

主蒸気隔離弁

主蒸気隔離弁 しゅじょうきかくりべん

原子炉または蒸気発生器出口からタービンまでの発電用蒸気移送のための配管である主蒸気管に設置され、それが閉じることで原子炉または蒸気発生器を必要に応じてタービン設備から隔離するための弁。加圧水型原子炉では、原子炉格納容器圧力高信号、主蒸気圧力低信号などの運転の異常を示す信号の発信により自動的に閉鎖される。また、沸騰水型原子炉でも、主蒸気管圧力低信号、主蒸気流量大信号などの運転の異常を示す信号の発信により自動的に閉鎖される。事故及び異常な過渡事象の早期終息にとって重要な役割を果たしている弁である。

<登録年月>

1998年01月
